

メロン

担当者 技能研究員 深海 健太郎

試験課題名	品種系統選定試験
目的	本町に適した多収・高品質の品種を選定するため比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により、生産の安定と経済性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所、JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会果菜部会

1 供試品種・資材

品種

※ 摩周グリーン (八江) ファイングリーン (大学農園)
ルピアレッド (みかど) いちひめ (大学農園)

※基準品種

2 耕種概要

土質 ~ 灰色低地土 (埴壤土)

前作 ~ メロン

播種日 ~ 3月25日 定植日 ~ 5月11日 収穫始日 ~ 8月12日 ~

栽植密度 ~ 畦幅2m×株間70cm 714株/10a当たり

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
6.66	0.204	134.3	49.6	65.7	756.0	15.1

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

堆肥 ~ 2,000kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基肥 ~ 硫酸アンモニア (21 - 0 - 0) 5月6日 マルチ下全層施肥
基肥 ~ 硫酸カリ (0 - 0 - 50) 5月6日 マルチ下全層施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

			N	P	K
基肥	硫酸アンモニア	19.0kg	4		
基肥	硫酸カリ	27.7kg			5
合計			4	0	5

4 調査項目

生育調査 ~ 播種日・発芽期・発芽率・定植日・定植時の苗質・初期生育 (5月30日)
開花始期・着果日・着果率・着果部位

収量調査 ~ 収穫始期・成熟日数・一果実重量・総収量・果高・果径・赤道・肉厚
花痕部径・規格別割合

果実特性調査 ~ 裂果・腐敗果・小果他・ネット不良果・ネットの密度・糖度 (Brix)
香り強さ・果肉の硬さ・食味・甘味

5 生育調査

項目	品種	摩周グリーン	ファイングリーン	ルピアレッド	いちひめ
播種日		3月25日			
発芽期		3月31日	3月30日		
発芽率 (%)		100	90	100	100
定植日		5月11日			
定植時の苗質	葉数	3.0	3.2	3.4	3
	葉身長 (cm)	7.9	9.3	8.5	8.3
着果期調査 (6月20日)	葉数	28	29.3	29.7	28.6
	つる長 (cm)	204.5	264.6	223.1	273
草勢 (強5~弱1)		3	5	3	4
開花始期		6月22日			
着果日		6月24日			
着果率 (%)		84	59	82	92
着果節位 (1果目)		9	13	12	11

6 収量調査

項目	品種	摩周グリーン	ファイングリーン	ルピアレッド	いちひめ
収穫始期 (40~50%)		8月12日			
成熟日数		47	47	47	47
平均1果重 (kg/一果重)		1.78	2.37	1.91	1.84
総収量 (kg/10a)		4,264	3,992	4,468	4,828
果高 (cm)		17.0	17.2	16.6	16.9
果径 (cm)		16.9	15.6	16.5	16.4
肉厚 (cm)		2.8	2.4	2.6	3.6
花痕部径 (cm)		2.2	2.4	2.3	2.2
規格別割合 (%)	4玉	18.1	90.3	46.5	39.3
	5玉	50.0	9.6	26.5	31.8
	6玉	27.2	0	10.2	21.2
	7玉	4.5	0	14.2	6.0

※規格 4玉 2.0kg 以上 5玉 1.6~2.0 kg 6玉 1.3~1.6 kg 7玉 1.0~1.3 kg

7 特性調査

項目	品種	摩周グリーン	ファイングリーン	ルピアレッド	いちひめ
外観	裂果 (%)	0	0	0	0
	腐敗果 (%)	7	0	0	0
	ネット不良果 (%)	0	0	0	8
	小果他 (%)	4	0	0	7
	ネットの密度 (多5~少1)	3	5	5	4
	糖度 (Brix)	12.6	14.4	14.4	12.9
食味	香り強さ (強5~弱1)	3	3.1	4.3	2.6
	果肉の硬さ (硬5~軟1)	3	2.3	1.8	3.3
	食味 (良5~不良1)	3	3.5	4.1	3.1

8 病虫害防除履歴

殺虫剤			殺菌剤		
7月12日	コロマイト乳剤	1000倍	7月11日	アミスター20F	2000倍
			7月15日	ポリベリン水和剤	1500倍
			7月27日	ダコニール1000	1000倍
			7月27日	モレスタン水和剤	3500倍

9 試験結果概要

(1) 生育経過

播種は3月25日に12cmポットと、ポットエースを使用して行った。その後、5日程で全品種が発芽した。発芽率は90%から100%となった。

定植はハウスの地温も確保できたため、5月11日に本葉3枚でちょうど良い株の状態のまま植えることができた。

6月20日の着果期調査ではつる長の平均が241.3cmとなり、初期成育は順調に経過し、開花始期は6月22日となった。その後6月23日から1週間ほど蜜蜂を使い受粉させた。

草勢は、他の品種に比べてファイングリーンがとても旺盛であり、摘果や整枝にとっても手間のかかる品種であった。

(2) 収量調査・果実特性結果

8月15日に果実特性と収量の調査を実施した。

平均1果重はどの品種も一玉がおよそ2kgになっており、重さや大きさが丁度良くなった。規格別の割合で見ると、ファイングリーンが4玉の果実の割合が高く、摩周グリーン・ルピアレッド・いちひめは4玉と5玉の割合が良い結果となった。

糖度はいちひめが14.8%、ファインググリーンが14.4%と、糖度の基準をクリアした。残りの2品種の摩周グリーンは12.8%、ルピアレッドは12.4%となった。

果高は4品種が17cm程になった。果径は平均が16.3cmの中ファインググリーンは15.6cmである。摩周グリーン・ルピア・いちひめの3品種が丸型なのに対し、ファインググリーンは若干縦長の形になっているため体積が大きく、一果重が他より重くなった。

(3) 考察

ハウス栽培のメロンは、今年度の干ばつや大雨の影響をそれほど受けることもなく順調に生育した。適した時期に良い苗を定植でき、着果期に天候が安定し受粉がうまく進んだことも大きい。

また、昨年よりも生育ステージ毎の灌水を意識して管理をした結果、着果率は去年とさほど変わらなかったが、製品として扱われる大きさに果実がまとまった。そのため、着果率と果実の大小はあまり関連性がみられないと思われる。

整枝のよし悪しや摘果遅れによる果実の生育阻害、ハウス際からの浸水・間違った時期の灌水・灌水量の多少等が大きく果実の生育に関わっていることが昨年、今年を通してよくわかった。